

阿刀田高さんと語りあおう 【おもしろい小説、心残り】



講師 小説家 阿刀田高 Atouda Takashi

【ハイブリッド】丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。

小説を思いっきり楽しむ大人の読書会

思えば私はずっとずっとおもしろい小説ばかりを読んできた。
おもしろい小説を探してきた。皆さんに紹介し、語り合ってきた。

心残りがある。まだ、ある。

おもしろさは人それぞれ、ちがっているが、それを読みあい、語り合あい、訪ねてみよう。
人間の発見があり、理解が生じ、新しい創造のもととなる。ここにアゴラがある。

阿刀田高

10・5|±
14:00-17:00

小説の裏わざ

1

まっすぐな書き方ではなく、厳しいことをななめに伝える。
ブラックユーモア的。

J.スウィフト『アイルランドの貧民の子供たちが両親及び国の
負担となることを防ぎ、国家社会の有益なる存
在たらしめるための穏健なる提案』

遠藤 周作『影なき男』
阿刀田 高『命日の天和』

1・11|±
14:00-17:00

小説家の凄腕

4

この作家はすごい腕力の持ち主なのだ。
3作品をとりあげるが『姫君を喰う話』は読まないの可。

宇能 鴻一郎『鯨神』
『花魁小桜の足』
『姫君を喰う話』

11・2|±
14:00-17:00

これぞ心残り

2

心あたたまるとのや、怖いものや、悲しいものや、不思議なものや…
いろいろのぞいてみよう。

浅田 次郎『うらぼんえ』
岸田 今日子『キタキツネ物語』
都筑 道夫『風見鶏』
結城 昌司『老後』

2・9|日
14:00-17:00

奇才の技法

5

つねにとっぴな作風であった。
星新一や阿刀田との違いは？

筒井 康隆『エロチック街道』
『母子像』

12・1|日
14:00-17:00

アイデアの誕生

3

阿刀田はユニークな作品をどう創るか。実践を訪ねて。
珍しい告白です。以下の順序で読んでください。

阿刀田 高『幸福通信』『ぺんぺん草の育て方』
エラリー・クイーン『賭博クラブ』
阿刀田 高『靴の行方』

3・8|±
14:00-17:00

気軽に身近な連作集を

6

ゴロリと寝転んで「ふーん」おもしろいね。
一世代前の女性のおまのじゃく。これぞ読書の楽しみ。

田辺 聖子『姥ざかり』

阿刀田高さんが選んだ小説を、阿刀田さんと味わう

作家として900編を超える小説を書き続け、人間、人生、ユーモアや恐怖を見つめるとともに、長きにわたり直木賞選考委員や日本ペンクラブ会長を務めてこられた阿刀田さんならではの視点、知見、経験とともに小説をじっくり味わいます。

知的で創造的、大人の読書会を楽しもう

自分では選ばなかった小説に出会い、味わう。小説を通じて語り合い、さまざまな人間や人生を知る。小説を思いっきり楽しむ大人の読書会です。「読書は大人の喜びだなとわかりました」「今頃ですが本好きになってきました。成長もしています」等の好評を受けての開催です。


講師プロフィール

阿刀田 高(あとうだ・たかし)

昭和10年(1935年)東京生まれ。早稲田大学文学部仏文科卒業後、11年間、国立国会図書館に勤務。その後軽妙なコラムニストとして活躍した後、短編小説を書き始め、昭和54年『来訪者』で日本推理作家協会賞、短編集『ナポレオン狂』で直木賞を、平成7年『新トロイア物語』で吉川英治文学賞をそれぞれ受賞。ユニークな短編の書き手として知られる。また、エッセイとして『知っていますか』シリーズ、小説『闇彦』、『知的創造の作法』など多数。

2003年紫綬褒章、2009年旭日中綬章受章、2018年文化功労者顕彰。日本ペンクラブ第15代会長、1995年から2013年まで直木賞選考委員、2012年から2018年3月まで山梨県立図書館館長を勤めた。

開催概要

日程	2024年 10/5(土)、11/2(土)、12/1(日) 2025年 1/11(土)、2/9(日)、3/8(土)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税、教材費込)
おすすめしたい方	・多様な作品に出会い、小説や読書をより楽しみたい方 ・文学の豊かさ、面白さに触れ、魅力を堪能したい方 初めての方も、これまでご参加の方もお楽しみいただけます
詳細・申込み	

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては下記をご確認下さい。



丸の内キャンパス

どちらも参加可能



オンライン

ハイブリッド開催

- ・丸の内キャンパスとオンラインのいずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加方法

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。パソコン (またはスマートフォン、タブレット) およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

